

平成 21 年 8 月 18 日

北アルプス広域連合議会  
議長 荒澤 靖 様

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会  
会長 長谷川 恒信  
住所 〒399-9211 白馬村神城 27721-396

## 『ごみ処理施設検討委員会』名称変更に関する陳情

### (陳情の主旨)

『ごみ処理施設検討委員会』のスケジュール案から、広域化基本計画の見直しに約半分(5ヶ月ほど)が組み入れられ、委員会での十分な検討を期待いたしております。

そこで施設の計画の前提として、ごみ減量化や資源化のための施策によっては、施設規模や役割が大きく変わってきます。それらを常に意識するために、委員会の名称から「施設」を抜いて「ごみ処理検討委員会」と変更することを提案申し上げます。

### (陳情理由)

3市村は、自然豊かで風光明媚な国内屈指の地域です。そこに新たに建設されるごみ処理施設は、今後15~20年以上使用することになるでしょう。

15~20年後の社会を見据えた施設計画を、住民参加のもと再構築するのがこの委員会です。ごみ処理の問題は、今後世界的に求められている「エコ社会」を作っていくための大きな手がかりとなります。

それは、「物を捨てる」という行為に対して、適切な「仕組み」を作ることによって、資源の浪費を防ぎ、再資源化を促進させる場となりえます。このことは循環型社会形成に関わる法律でも基本の考えとなっています。

施設そのものを作ることが目的ではなく、まず私たちが日々排出する「ごみ(不要になった物)」を適正に処理する施策(減量化・資源化)を考え、その施策を実施するのに必要な(見合った)施設を検討することが求められます。

この委員会が活動を始め、逐次その内容を広く住民と共有し合意を図っていく過程そのものが、循環型社会形成(エコ社会)を推進するのではないのでしょうか? そのためには、委員会の名称を変更し「ごみ処理検討委員会」とするのがふさわしいと考えます。

以上